

## 岩槻特別支援学校・松伏高校内分校

### 整備がすすむ

知的障害児の学校が教室不足です。春日部特支の過密解消として学校増設を求めてきました。岩槻特別支援学校と松伏高校内特別支援学校分校の整備予算が付き、着々と建設が進んでいます。

肢体不自由の学校も足りません。



肢体不自由児の越谷特支視察



### 災害犠牲者ゼロへ

### 自治体は何をなすべきか… 研修会を開きました

豪雨災害の犠牲者ゼロを目指し、全国を講演して回る片田敏孝東大特任教授を招き、研修会を開きました（1月）。会場満員の参加者が涙を流し、防災行政の強化を心に誓いました。昨年の台風19号の際に危険地域の8割の住民が広域避難した加須市の経験を学ぶために、党加須市議団保坂徳蔵団長の報告、県議団の取り組み報告も行いました。

バスを売り払って給料をだしている  
観光バス会社もある。  
事業ができなくなっただけからでは遅い

コロナの影響で売り上げが落ちた事業者への支援を求めて予算特別委員会を質問

### # 自粛要請は補償と一体に

## 秋山文和の県政ニュースレター

発行  
2020年春号

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048  
<http://jcp-saitama-pref.jp/>

## PCR 検査数足りない

# 体制強化を

埼玉県のPCR検査は1日あたり140件です。しかし、実際はPCR検査が能力いっぱいまでされていません。医師が検査が必要だと考えても、まずマイコプラズマ肺炎など多数の検査で陰性だと証明しなければならないなど、PCR検査になかなかたどり着けないしくみがあります。秋山県議は、予算特別委員会でその拡大を要求。知事は「当面衛生研究所でやるもの、民間に送るべきものの基準を明確にする」と答弁しました。今後、ドライブスルー方式や抗体検査など検討が必要です。



## 無利子・無担保・ 無保証人・無保証料の融資が必要

秋山文和県議は、予算特別委員会総括質疑で、「100人規模の宴会5件がキャンセルされた」「中国からの部品が入らず納品ができなくなった」など小規模事業者の声を取り上げ、「倒産して事業ができなくなってからでは遅い」と指摘。制度融資は「無利子、無担保、無保証人、無保証料」になるべく近づけたものを創設してほしいと求めました。大野知事は「原則無担保・無保証人」は難しいが「なんとか利率を下げていきたい」と答弁しました。

## 新型コロナウイルス

# 感染防止のために

新型コロナウイルスの感染による影響は計り知れません。みなさんと行政と議員がともに力を合わせて乗り切る時です。県議団は、感染を防止するために、また、コロナ対策による経済の悪影響も最小限にとどめるために全力をあげます。

熱などの症状がある

コロナかも…

●ご心配な点は

埼玉県新型コロナウイルス  
感染症県民サポートセンター

TEL 0570-783-770

●LINEでの相談は

埼玉県LINE公式アカウント

埼玉県-新型コロナ対策パーソナルサポート



●日本共産党の議員に相談したい方は

日本共産党埼玉県議団

TEL048-824-3413



2月のコロナ対策を求める緊急申し入れ。対応したのは保健医療部副部長



予算特別委員会総括質疑で、コロナ対策を知事に質問



予算特別委員会コロナ対策部局別質疑で、知事に質問



障害者施設を感染から守るための緊急申し入れ。対応したのは福祉部長



新型コロナウイルス感染が拡大している。県内には75床の感染症病床があるが、とても足りない、拡大の計画は。



一般医療機関に打診中。  
(予算特別委 3/19)

3月31日

大野知事は感染症病床をさらに150床確保の見込みと公表



防災問題での県議団主催研修会に100人参加



台風19号の際、避難所が水没した箇所がある。県地域防災計画では豪雨災害の避難所と地震避難所が同じ基準になっている。見直しを。



避難所について検証作業を進め見直す。  
(本会議 3/2)



新型コロナウイルス感染拡大の中で、フリーランスや個人事業主が仕事を失っている。融資では救うことはできない。固定費などの直接支援を、国に強くもとめてほしい。



地域経済の現状を把握し、県が取り組むべき対策、国に要望する対策、これらを整理して国につたえるとともに、我々も覚悟をもって臨みたい。  
(予算特別委 3/23)

みなさんの声も届けました

# 党県議団に 知事・教育長が約束



肢体不自由児の学校が遠い。川口の子どもは1時間半かけて越谷市まで通学している。川口市に肢体不自由児の学校を。



児童生徒の負担、憂慮している。  
川口市内に学校ができればと思って、市と協議してきている。  
(本会議 3/2)



中小・零細・個人事業主の要望をヒアリング



感染拡大により、医療機関・福祉施設をはじめタクシーのような接客業などが深刻なマスク・消毒液不足になっている。一刻も早く届けてほしい。



優先度の高いところに、可能な限り迅速に届くようにする。  
(予算特別委 3/19)



一刻も早く県立循環器呼吸器病センターの医師の処遇を引き上げ、医師確保をし、欠員補充を。



医師からは自宅待機時や夜間・休日の時間外に手当を出してほしいなどの提案も聞いている。様々な観点から処遇改善に対応する。  
(予算特別委 3/23)



肢体不自由児の越谷特支を視察



障害者の入所施設待機者は1600人。計画的な整備を。



必要な入所施設の整備を引き続き進める。  
(本会議 3/2)



「障害者のくらしの場を考える」県との懇談会

令和2年度  
当初予算で

# みなさんの 願い実現!!

## 児童相談所の

### 一時保護所新設

県児童相談所は7か所ですが、一時保護所は4か所でした。党県議団は増設を求めてきましたが、熊谷児相建て替えと同時に新設が決定しました。

## 特別支援学校分校

### 新たに3校

特別支援学校の教室が足りません。県議団は繰り返し新增設を求め、上尾南高校・北本高校・宮代高校内に高等部分校が設置されます。大宮北特支は定員増をします。

## 被災者半壊特別給付金 (50万円) 創設

豪雨などで自宅が半壊(床上浸水なども)した場合支給されます。

## LGBTQ 実態調査 を行います



## 日本共産党埼玉県議団は 当初予算に賛成しました

令和2年度予算案は大野元裕知事が提出した最初の予算案です。大野知事の当選後の「県民の声をよく聞く」という表明にふさわしく、上記のように県民の要求に基づく新規の施策がみられる一方、県立4病院の地方独立行政法人化や県学力量学習状況調査実施事業費など懸念もあります。党県議団は、これらの問題点を予算特別委員会質疑などで指摘しつつ、前進面を評価し、予算全体として賛成しました。

## 予算特別委員会を振り返って

### どこでつまずいたかもわからない県学力テスト

全国一斉学力テストとは別に埼玉県では県学力量学習状況調査というテストを小学4年生から中学3年生まで全員を対象に行っています。来年度の予算は2億1984万円あまり。テスト問題用紙は直後に回収されます。秋山文和県議は保護者から提供された「個人結果表」を委員全員に配布。「これが学習の指導に使えますか？」と指摘。他党派からも「そうだ!」という声。秋山県議は「私たちは全員の学テ廃止を求めてきたが、あくまでやるということだった。それならば、学力が伸びない市町村や学校に教員体制を厚くするなど特別の支援をするべきだ」と指摘しました。

## 閉会日をふりかえる①

### 自公独占の時代は終わり

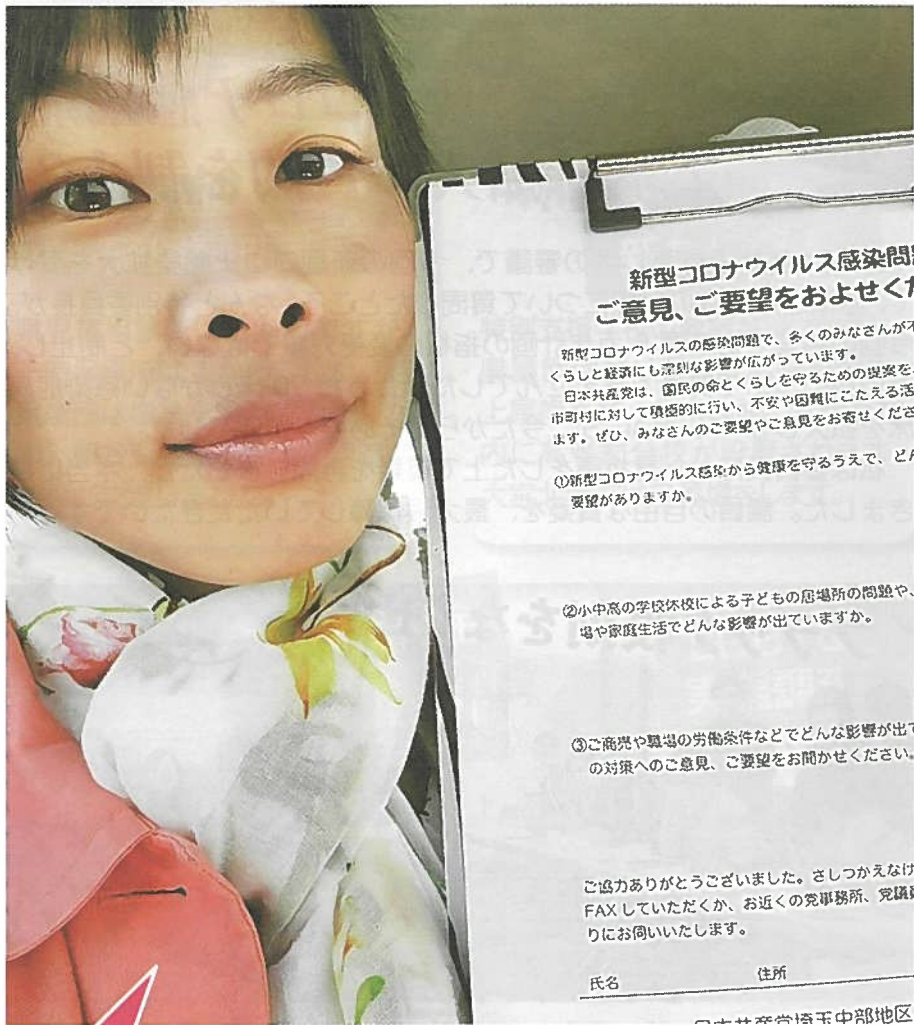
昨年の県議選で、県民会議と日本共産党が増えたことにより、議会運営副委員長選任について、自公候補とそれ以外の統一候補の選挙になり、統一候補である県民会議の議員を当選させることができました。今回改選では、自公が初めから県民会議の議員を推薦。議運委員会副委員長の自公独占時代は終わりました。

## 閉会日をふりかえる②

### 消費税ゼロ%に?

コロナ経済対策として、自民党より「消費税の軽減税率をゼロ%に」という意見書案が提案されました。もちろん党県議団は賛成。公明党以外の会派の賛成で採択されました。

党県議団紹介の「消費税を5%に」という請願は採択されず。5%では生ぬるいということでしょうか?



あなたの声をきかせてください

秋山もえプロフィール

上尾市議3期。現在県議1期目（上尾市・伊奈町選出）。1976年千葉県木更津市に生まれる。新聞奨学生として働きながら大東文化大学（ウルドゥー語専攻）を卒業。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。趣味はカフェめぐり、バスケ、ネイル。西上尾第二団地在住。

子育て世代  
コロナアンケート



秋山もえ

検索

伊藤好孝議員より  
国へ文筆強化を求める



新型コロナウイルスの  
感染拡大をくいとめるために  
今みんなで力を合わせるときです。  
だからこそ必要なのは  
暮らしと営業を支える支援。  
貸し付けではなく  
給付が必要。

#自粛と補償はセットで

秋山もえの県政ニュースレター

発行  
2020年春号

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>



梅村さえこ前衆議院議員と私

## 新型コロナ問題で、県内医療機関を訪問

病院では布マスクは使用できないため、使い捨てのマスクがどうしても必要だが調達できない…アルコール消毒液もエタノールも。手術用のマスクをはじめ手袋やガウンも不足…一刻も早く、必要物資を届けるべきです。

さらに通院を控える方が増えており、患者が通常の8割で、経営困難が広がっている、とのこと。損失補償が必要です。



障害者入所施設の利用者が新型コロナ感染の心配や施設職員の負担軽減を考えて一時帰宅した場合も報酬の対象とするよう県と国に申し入れ(写真)、県は直ちに市町村へ通達をだすことに。

## 「休校は市町村判断を尊重」

## 県議会文教委員会で

私は、安倍首相の要請にもとづき県も全自治体の教育委員会に休校要請をしたことについて、各市町村の判断を尊重するよう県議会文教委員会で求めました。教育長は「設置者の判断を尊重する」と表明しました。

## 新型コロナウイルス

# 感染防止のために

新型コロナウイルスの感染による影響は計り知れません。みなさんと行政と議員がともに力を合わせて乗り切る時です。党県議団は、感染を防止するために、また、コロナ対策による経済の悪影響も最小限にとどめるために全力をあげます。

熱などの症状がある

●ご心配な点は

埼玉県新型コロナウイルス  
感染症県民サポートセンター

TEL 0570-783-770

コロナかも…

●LINEでの相談は

埼玉県LINE公式アカウント

埼玉県 - 新型コロナ対策パーソナルサポート



●日本共産党の議員に相談したい方は

日本共産党埼玉県議団

TEL048-824-3413



2月のコロナ対策を求める緊急申し入れ。対応したのは保健医療部副部長



予算特別委員会総括質疑で、コロナ対策を知事に質問



予算特別委員会コロナ対策部局別質疑で、知事に質問



障害者施設を感染から守るための緊急申し入れ。対応したのは福祉部長



新型コロナウイルス感染が拡大している。県内には75床の感染症病床があるが、とても足りない、拡大の計画は。



一般医療機関に打診中。  
(予算特別委 3/19)

3月31日

大野知事は感染症病床をさらに150床確保の見込みと公表



防災問題での県議団主催研修会に100人参加



台風19号の際、避難所が水没した箇所がある。県地域防災計画では豪雨災害の避難所と地震避難所が同じ基準になっている。見直しを。



避難所について検証作業を進め見直す。  
(本会議 3/2)



新型コロナウイルス感染拡大の中で、フリーランスや個人事業主が仕事を失っている。融資では救うことはできない。固定費などの直接支援を、国に強くもとめてほしい。



地域経済の現状を把握し、県が取り組むべき対策、国に要望する対策、これらを整理して国につたえるとともに、我々も覚悟をもって臨みたい。  
(予算特別委 3/23)



中小・零細・個人事業主の要望をヒアリング



感染拡大により、医療機関・福祉施設をはじめタクシーのような接客業などが深刻なマスク・消毒液不足になっている。一刻も早く届けてほしい。



優先度の高いところに、可能な限り迅速に届くようにする。  
(予算特別委 3/19)

みなさんの声も届けました

# 党県議団に 知事・教育長が約束



一刻も早く県立循環器呼吸器病センターの医師の処遇を引き上げ、医師確保をし、欠員補充を。



医師からは自宅待機時や夜間・休日の時間外に手当てを出してほしいなどの提案も聞いている。様々な観点から処遇改善に対応する。  
(予算特別委 3/23)



肢体不自由児の学校が遠い。川口の子どもは1時間半かけて越谷市まで通学している。川口市に肢体不自由児の学校を。



肢体不自由児の越谷特支を視察



児童生徒の負担、憂慮している。川口市内に学校ができればと思って、市と協議してきている。  
(本会議 3/2)



障害者の入所施設待機者は1600人。計画的な整備を。



必要な入所施設の整備を引き続き進める。  
(本会議 3/2)



「障害者のくらしの場を考える」県との懇談会

令和2年度  
当初予算で

# みなさんの 願い実現!!

児童相談所の

## 一時保護所新設

県児童相談所は7か所ですが、一時保護所は4か所でした。党県議団は増設を求めてきましたが、熊谷児相建て替えと同時に新設が決定しました。

特別支援学校分校

## 新たに3校

特別支援学校の教室が足りません。県議団は繰り返し増設を求め、上尾南高校・北本高校・宮代高校内に高等部分校が設置されます。大宮北特支は定員増をします。

## 被災者半壊特別給付金 (50万円) 創設

豪雨などで自宅が半壊(床上浸水なども)した場合支給されます。

## LGBTQ 実態調査 を行います



## 日本共産党埼玉県議団は 当初予算に賛成しました

令和2年度予算案は大野元裕知事が提出した最初の予算案です。大野知事の当選後の「県民の声をよく聞く」という表明にふさわしく、上記のように県民の要求に基づく新規の施策がみられる一方、県立4病院の地方独立行政法人化や県学力学習状況調査実施事業費など懸念もあります。党県議団は、これらの問題点を予算特別委員会質疑などで指摘しつつ、前進面を評価し、予算全体として賛成しました。



## 県5カ年計画特別委員長が 新型コロナ感染症 病床拡大の質問を制止?

県5カ年計画見直し案の審議で、今回の新型コロナ感染拡大を受けて、感染症病床数の目標について質問したところ、なんと特別委員長が、今回の議案である県5カ年計画の指標の変更対象ではない、と制止し、この点について質疑できませんでした。たった70床しかない感染症病床を拡大しなくていいのか、今だからこそ必要な質問でした。

私は委員長に、一言抗議をした上で質疑を再開しましたが、本当に驚きました。議員の自由な質疑を、最大限保障していただきたいです。



## ブラック校則をなくせ!!

ブラック校則を考えるつどいを青年のみなさんといっしょに開催しました。教育研究所の白鳥勲さんがゲストスピーチ。

現役の高校生や大学生、社会人など若い人が集まり、今、実際にあるブラック校則の一つ一つが紹介され驚きの連続でした。中学生、高校生の自分らしく生きる権利を侵害していること、これを改善するには、周りの友達に疑問を投げかけたり、先生に相談したりして、自分のやれることをやってみるのはどうかという話になりました。

(自粛要請前に開催したものです)



# 新型コロナ 感染対策

自粛要請だけでなく、暮らし・営業を守るための補償を！

安倍首相は4月7日夕刻、新型コロナウイルスの感染が広がっている7都道府県を対象に、緊急事態宣言。(5月6日まで)しかし、外出自粛に伴う休業補償は抽象的です。

国の当初予算には、コロナ対策費がなく、日本共産党は、他の野党と協力し補正予算案を提出するなど、「国民のために税金を使え」と主張。年初めに「戦争させない! 埼玉の会」のみなさんと街頭で訴えました(写真左)。

「桜を見る会」など国政私物化、憲法違反の自衛隊海外派遣許さないなど、力合わせて頑張ります。



## 東武鉄道(株)交渉

県議会東武東上線利便性向上促進議員連盟が、東武鉄道(株)に要望書提出。前原かづえ県議は、「ふじみ野駅の外階段に、下りのエスカレーターの設置」を要望。東武関係者からは「新たな課題として受け止めます」と回答がありました。



## 文化芸術は生きる力

さいたま芸術劇場建設の基本理念と、昨年10月で25周年を迎えた財団と劇場の歴史を伺いました。病気で生きる気力を失っていた人が舞台演劇に参加することで気力を回復。文化芸術は生きる力を生みだします。



## 沖縄の米軍基地はいらない

キラリふじみで行われた絵画展。身近な風景や静物画と並んで、闘う人達を力強く描いた絵の前で、製作者のお話を伺いました。



## 安倍9条改憲 NO!

オール埼玉 in ふじみ野駅西口宣伝。80名以上の方々が足を止めて「憲法守れ」のリレートークに耳を傾けました。



▽鶴瀬駅前早朝宣伝



前原かづえの 総務県民生活委員・予算特別委員 所属委員会 人材育成文化スポーツ振興特別委員

# 前原かづえの 県政ニュースレター

2月定例会特集号



発行  
2020年春号

日本共産党埼玉県議団  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>



## 消費の落ち込みは深刻 消費税5%へ引き下げを

市内の商店街で、市議と一緒に、新型コロナウイルス感染症による営業への影響を調査。商工会議所の事務局長は、「県の融資制度の内容を伝えるため、1600名の会員に郵送。500軒は訪問。(3月末現在)融資だから、返済を考えると、体力なければ借りられない。でも、昨年末に比べると問い合わせが増えている」と。

不動産屋さんは、「今のところ影響はない」といっていましたが、飲食店に店を貸している家主は、「『客が来なくて家賃払えないから半額にして』といわれ、いいよといったけれど、私のほうも生活あるからね。なんか補助制度ないかね」と訴え。深刻な訴えばかり。消費の落ち込みは深刻です。

### 補償とセットで負担軽減を

何よりも、コロナ流行前から消費を落ち込ませた消費税増税をやめて、5%への減税実現を。そして、自粛要請だけでなく、暮らし・営業守るための補償とセットで負担軽減を図るのが政治の責任です。



## 新型コロナウイルス

# 感染防止のために

新型コロナウイルスの感染による影響は計り知れません。みなさんと行政と議員がともに力を合わせて乗り切る時です。党県議団は、感染を防止するために、また、コロナ対策による経済の悪影響も最小限にとどめるために全力をあげます。

熱などの症状がある

コロナかも…

●ご心配な点は

埼玉県新型コロナウイルス  
感染症県民サポートセンター

TEL 0570-783-770

●LINEでの相談は

埼玉県LINE公式アカウント

埼玉県 - 新型コロナ対策パーソナルサポート



●日本共産党の議員に相談したい方は

日本共産党埼玉県議団

TEL048-824-3413



2月のコロナ対策を求める緊急申し入れ。対応したのは保健医療部副部長



予算特別委員会総括質疑で、コロナ対策を知事に質問



予算特別委員会コロナ対策部局別質疑で、知事に質問



障害者施設を感染から守るための緊急申し入れ。対応したのは福祉部長



新型コロナウイルス感染が拡大している。県内には75床の感染症病床があるが、とても足りない、拡大の計画は。



一般医療機関に打診中。  
(予算特別委 3/19)

3月31日

大野知事は感染症病床をさらに150床確保の見込みと公表



防災問題での県議団主催研修会に100人参加



台風19号の際、避難所が水没した箇所がある。県地域防災計画では豪雨災害の避難所と地震避難所が同じ基準になっている。見直しを。



避難所について検証作業を進め見直す。  
(本会議 3/2)



新型コロナウイルス感染拡大の中で、フリーランスや個人事業主が仕事を失っている。融資では救うことはできない。固定費などの直接支援を、国に強くもとめてほしい。



地域経済の現状を把握し、県が取り組むべき対策、国に要望する対策、これらを整理して国につたえるとともに、我々も覚悟をもって臨みたい。  
(予算特別委 3/23)



中小・零細・個人事業主の要望をヒアリング



感染拡大により、医療機関・福祉施設をはじめタクシーのような接客業などが深刻なマスク・消毒液不足になっている。一刻も早く届けてほしい。



優先度の高いところに、可能な限り迅速に届くようにする。  
(予算特別委 3/19)

みなさんの声も届けました

# 党県議団に 知事・教育長が約束



肢体不自由児の学校が遠い。川口の子どもは1時間半かけて越谷市まで通学している。川口市に肢体不自由児の学校を。



児童生徒の負担、憂慮している。川口市内に学校ができればと思って、市と協議してきている。  
(本会議 3/2)



肢体不自由児の越谷特支を視察



障害者の入所施設待機者は1600人。計画的な整備を。



必要な入所施設の整備を引き続き進める。  
(本会議 3/2)



一刻も早く県立循環器呼吸器病センターの医師の処遇を引き上げ、医師確保をし、欠員補充を。



医師からは自宅待機時や夜間・休日の時間外に手当を出してほしいなどの提案も聞いている。様々な観点から処遇改善に対応する。  
(予算特別委 3/23)



「障害者のくらしの場を考える」県との懇談会

令和2年度  
当初予算で

# みなさんの 願い実現!!

児童相談所の

## 一時保護所新設

県児童相談所は7か所ですが、一時保護所は4か所でした。党県議団は増設を求めてきましたが、熊谷児相建て替えと同時に新設が決定しました。

特別支援学校分校

## 新たに3校

特別支援学校の教室が足りません。県議団は繰り返し増設を求め、上尾南高校・北本高校・宮代高校内に高等部分校が設置されます。大宮北特支は定員増をします。

## 被災者半壊特別給付金 (50万円) 創設

豪雨などで自宅が半壊（床上浸水なども）した場合支給されます。

## LGBTQ 実態調査 を行います



## 日本共産党埼玉県議団は 当初予算に賛成しました

令和2年度予算案は大野元裕知事が提出した最初の予算案です。大野知事の当選後の「県民の声をよく聞く」という表明にふさわしく、上記のように県民の要求に基づく新規の施策がみられる一方、県立4病院の地方独立行政法人化や県学力学習状況調査実施事業費など懸念もあります。党県議団は、これらの問題点を予算特別委員会質疑などで指摘しつつ、前進面を評価し、予算全体として賛成しました。

予算  
特別委員会

## どこでつまずいたかわからない 県学力テスト

埼玉県は、全国一斉学力テストとは別に、県学力学習状況調査というテストを小学校4年生から中学3年生まで全員を対象に実施。予算は2億1984万円あまり。テスト用紙は直後に回収され、「個人結果表」が届きます。日本共産党の秋山文和県議は、保護者から提供された「結果表」を、予算委員会で示し、「これが、学習の指導に使えますか？」と指摘。他の会派からも、「そうだ!」という声。秋山県議は、「私たちは、全員の学テ廃止を求めてきた。あくまでもやるという事なら、学力が伸びない市町村や学校に、教員体制を厚くするなど特別の支援をすべき」と指摘しました。

## 意見書・コロナ経済対策 公明党が反対



コロナ経済対策として、自民党より「消費税の軽減税率をゼロ%に」という項目が入った意見書案が提出され、日本共産党は賛成。公明党が反対。賛成多数で可決。一方で、党県議団紹介の「消費税5%に」という請願は採択されず。5%では生ぬるいということでしょう。

## 「刑事被告人の保釈に関する制度等の改善を求める 意見書案」に反対討論

昨年末の日産自動車前会長のカルロス・ゴーン被告の国外逃亡事件を受けて、保釈要件の見直しを求める意見書を自民党が提出。前原かつえ県議は以下の理由を示し、反対討論を行いました。

被告人の国外逃亡はあってはならないこと。しかし現行法を厳格に実施すれば逃亡を十分に防げる。そもそも身体を拘束されるのは、例外的な場合に限られるべきであり、「疑わしきは被告人の利益に」これが原則であり、保釈の要件の見直しは必要ないと指摘しました。



### 川口市長が警察署要望

奥ノ木川口市長が大野知事へ川口市への警察署増設要望に見え、川口選出の7名の県議が同席しました。川口市に3署目となる警察署の設置が決まりました。



### 小谷場地域の見沼用水路橋が完成!

子ども達が近くの学校へ通うのに迂回しなければならず、何とかしてと要望を受けたのが3年前、区画整理事務所と交渉を重ね、地主さんの理解と協力を得て漸く完成しました。



### 川口市本蓮交差点の安全策を要望

川口市本蓮の首都高下の交差点、右折車による事故が多く、さいたま県土整備事務所と県警に現場で安全策を要望。右折表示の工事が行われます。

# 県民の声を大野知事に届けました



2月定例会一般質問

## 令和2年度当初予算で願い実現—予算に賛成

予算審査では、児童相談所職員の増員や、特別支援学校の新たな設置、被災者安心支援制度の拡充、LGBTQ実態調査の実施など、全体として評価できることから、改善を要する予算は指摘をして、予算案には賛成しました。

## 村岡まさつぐの県政ニュースレター



### 村岡まさつぐ プロフィール

党県議団幹事長、警察危機管理防災委員会、地方創生・行財政改革特別委員会  
一級建築士、埼玉県応急危険度判定士、東洋大学工学部卒、川口市議を経て、2011年より埼玉県議会議員3期目

発行  
2020年春号

### 日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

2月定例会特集号



## 新型コロナウイルス感染 拡大防止のために

日本共産党埼玉県議団と県委員会は新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ、3月26日に大野知事と小松教育長に対し、緊急の申し入れを行いました。

知事には検査体制の強化、感染者増大に備えた入院病床の確保、医療費を心配せず検査や治療を受けられる措置、中小企業・業者への融資、国民健康保険加入者への傷病手当金支給、介護事業者への損失補償などを求めました。

教育長には学校の再開に際しての感染防止措置、全国学力テストや県学力テストの中止などを求めました。

大野知事は「無担保・無利子・無保証は難しいが、貸し付けをしっかりと行うことで中小企業を応援する。中小企業や業者に対する指摘はわれわれも共有している」などと話しました。

### 障害者施設を感染から守るための 緊急申し入れ

障害児者入所施設でのコロナウイルスからの救命措置としての一時帰宅を報酬の対象としないのは余りに理不尽、家族や施設から悲痛な声が寄せられました。早速、現場に出向き関係者から実情を聞き、4月1日、大野県知事宛の申し入れ書を県福祉部長に届けました。

その後、厚労省障害保健福祉部障害福祉課の担当者より、ハッキリと「入所施設も含まれます」と明言をとりつけ、埼玉県の福祉部にも早速、入所施設も含まれることを伝えました。県は市町村への周知を実施しました。



埼玉県新型コロナウイルス感染症 県民サポートセンター  
0570-783-770 (受付時間:24 時間)

## 一般質問に立ちました 知事の政治姿勢を問う



### 気候変動・温暖化対策

国連の要請にこたえ、埼玉県が、「CO<sub>2</sub>ゼロ宣言」を行い、全国に先駆けた、独自の温暖化対策を打ち出すよう、知事に求めました。知事は「今後も県が率先して行動し2050年にCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを実現できるよう具体的な道筋を検討します」と答弁しました。

### ジェンダー平等の取り組み

知事公約として県庁における女性管理職の割合を増やすとしています。「ならば思い切って、女性幹部の登用、5割目標の計画を立て目指すべきです」と迫りました。知事は「本県の女性管理職の割合は、この10年間で約2倍となっています。

今年度の知事部局の採用者に占める女性の割合は、約4割となっており、可能な限り早期に女性管理職の割合をこの割合に近づけていきたいと考えています」と答弁しました。

### LGBTQの取り組み

LGBTQの取り組みへの知事の決意を聞きました。知事は「令和2年度は、カミングアウトできない方も含め、当事者が直面する様々な困難な状況を把握する実態調査を実施し、その結果を踏まえ必要な支援を検討し実施してまいります」と答弁しました

一般質問後に傍聴者と懇談。中央は大野知事



## 村岡県議「川口市に肢体不自由の特別支援学校を」

埼玉県には、県立の肢体不自由特別支援学校が9校しかなく、学区が広域化しています。越谷特別支援学校のスクールバスのほとんどは川口市からの通学バスで、最大所要時間は1時間半です。家からバス停までの時間を考えれば2時間近くかかる子もいます。一般質問で、川口市への特別支援学校の整備について、市と協議するよう求めました。

## 教育長「川口市と協議を始めています」

教育長は「川口市内から通う児童生徒の通学負担について、かねがね教育委員会としても憂慮しています」「川口市内に肢体不自由特別支援学校を作ることができればと思い、川口市とも公的な施設の活用ができないかなど、相談してきています」と答弁。川口市と協議が始まっていることを、初めて明らかにしました。

## 村岡県議「医療的ケア児をスクールバスに」

また、埼玉県では、重症の気管切開の子どもは、特別支援学校のスクールバスに乗せてもらえません。保護者が送迎できなければ、訪問教育となります。肢体不自由児の越谷特別支援学校の元保護者の声を紹介しました。お子さんが月1回の登校を楽しみにしていた様子を語り、東京都は、看護師がスクールバスに同乗し、医療的ケアを必要とする子どもがバスに乗れるようにする事業を始めていると紹介。埼玉でも同様の事業を求めました。



## 知事「調査研究を行う」

大野元裕知事は、「私も肢体不自由特別支援学校に通う子どもの保護者から、通学負担の現状についてお話を伺う機会がありました」「とりわけ医療的ケアを必要とする児童生徒の負担や学校までの送迎する保護者の苦労はより一層大きいものと認識しています」として、「この課題に対応を検討するよう、すでに教育委員会に伝えており、調査研究を進めているという風に聞いております」そのうえで、さらに「今後期限を区切って、調査研究の進捗状況についてフォローアップさせていただきます」と強調しました。

## 村岡県議「障害児者の『くらしの場』の確保を」

障害児者の家族の最も切実な願いは、「暮らしの場」の確保です。4070問題は今や50歳代の障害のある子どもを80歳代の親が見る、5080問題となっています。「親亡きあと我が子はどうなるか」行場もなく将来も見送せない、不安は広がるばかりですが、ではその先に、6090は有りうるのか、誰が考えてもありません。「人生に疲れた」「親子心中をいつも考えてしまう」こうした声まで聞こえています。そうした障害児者家族の一番の願いは「入所施設」所謂「暮らしの場」です。

川口市に昨年4月に開所した入所施設では、定員40人に200人を超える応募で、多くの見学者が訪れました。今、埼玉で入所施設を待ち望んでいる人は1600人に達しています。村岡県議は「県はこれまで施設整備について、必要性は分かるが国へ言っていくとの答弁を繰り返すにとどまっています。知事、計画的に入所施設整備に踏み出してほしい」と迫りました。

## 知事「必要な入所施設の整備を引き続きすすめる」

知事は「国が施設の入所者数の削減を基本方針としているため、県が独自に入所施設の整備計画を策定することは厳しい」としつつ、「障害あるお子さんの行く末を心配される親御さんの思いは私も強く受け止めています」「必要な入所施設の整備を引き続き進めていきます」と答弁しました。

## 引き出した答弁は「お守り」

一般質問の傍聴にきた「障害者のくらしの場を考える会」の会長さんは、「県の入所施設に対する方針が変わったのは、党県議団が『必要な施設はつくる』という知事答弁を引き出してから。これが、運動の財産・お守りとなっています。今回も確認していただき本当にありがとうございます」と語っています。



「障害者の『くらしの場』を考える会」懇談



## 村岡県議「災害被災者ゼロへ空振りを恐れず災害救助法を」

日本災害情報学会会長の片田敏孝東大特任教授が「災害ごときで、人が死んでは

ならない」と訴え全国を回っていると一般質問で紹介し、村岡県議は、「豪雨災害において、『死亡者ゼロ』を目指すべき」と求めました。知事は「豪雨災害については事前に発生を予想しやすく、災害が発生するまで一定時間あるので、宣言するまでもなく死亡者ゼロを目指すべき」と答弁しました。

また、避難のための費用について、県と国が負担となり、市費負担がない災害救助法適用を積極的に行うよう求めました。知事は「今後も市町村の被害状況を的確に収集し、空振りを恐れることなく災害救助法の4号基準を積極的に活用します」と答弁しました。

## 村岡県議「医師確保について、知事の決意は」

埼玉県人口10万人当たりの医師数は、169.8人で全国最下位です」として、知事の医師確保の決意を質しました。

知事は「医師確保は県政の最重要課題の1つと考えておりますので、しっかり取り組んでまいります」と力強い決意とともに令和12年には400人の医師を確保できる見込みになっていること。「後期研修医の確保に努めていく」と答弁しました。



## 村岡県議「県総合リハビリテーションセンター独法化は許さない」

県リハは直営だからこそ、民間病院では受け入れることができない重症患者を積極的に受け入れることができるとして、独法化すべきではないとして、知事の見解を質しました。

知事は「リハセンは、民間病院では受け入れが困難な方に対する政策的医療を担っている」としながらも、「まずは経営改善にしっかり取り組み、公営企業会計移行後に経営状況を十分に検証します」「経営形態については、私は、現時点で地方独立行政法人化ありきという考え方は持っておりません」と答えました。



## 村岡県議「SDGsの実現には文化・芸術活動が不可欠。知事の見解を」

村岡県議「SDGsの実現には文化・芸術

活動が不可欠。知事の見解を」

昨年12月、さいたま芸術劇場での近藤良平と障害者ダンスチーム「ハンドルズ」の公演を評価し、SDGsの実現には、こうした文化・芸術活動が不可欠と考えるとして、知事の見解を質しました。

## 知事「SDGsを実現していく上では文化・芸術の力は大きい」

知事は「多くの人々の心をとらえるハンドルズの活動は、障害の有無に関わらず多様性を認め合う共生社会の理念を体現するものであります。誰一人取り残さない社会を目指すSDGsを実現していく上で、こうした文化・芸術の力は大きいと実感しているところです」と答弁しました。

## 村岡県議「蜷川レガシーの継承を」 知事「しっかり守る」

また、さいたま芸術劇場の蜷川幸雄芸術監督亡き後「蜷川レガシー」をどのように継承していくのかと問いかけ、知事は「平成28年に、残念ながら蜷川監督が亡くなられた後も、蜷川監督の薫陶(くんとう)を受け共に作品を作ってきたスタッフを中心に、蜷川レガシーをしっかりとしりながら、劇場運営に当たっています」と答弁しました。

## 村岡県議「障害者アート企画展への支援を」

第10回埼玉県障害者アート企画展は、135名の作家、約500点の作品で、多くの来場者に感動を与えました。村岡県議はこれを高く評価し、この企画展は、厚労省補助金と県補助金が主な財源だとして障害者アートの発展のためには、県の積極的な財政支援が不可欠だと求めました。

## 教育長「効果的な支援を検討・実施する」

教育長は、「平成30年度から、展示会の開催や、障害者アートに取り組むための相談・人材育成などの活動に助成を行っています。今後とも、障害者アートの振興のため、効果的な支援を検討・実施します」と答弁しました。



## コロナ対策 財政支援を



新型コロナ対策について要望書を提出

埼玉県の各地でいっせい宣伝が行われました。市内商店を訪問し、聞いてきた声を紹介しながら、「不安解消のため、知事への申し入れなどを行い、暮らしを守る防波堤となって頑張っていく」と決意を語りました。商店訪問では45年同じ場所で居酒屋を営んでいる店主から「売り上げが半分以下」という実態を聞きました。そうした実態を県の担当者にも伝えました。県からの「補正予算が通って、従来よりも早く手続きでき、ハードルを下げた融資ができるようになった」との話をききつつ、「国とも協力してぜひ助成制度をつくって、営業を守ってほしい」と訴えました。



伊藤参議院議員とともに県の新型コロナ対策の取り組み状況を聞きました



川越県土整備事務所で寺尾地域の方たちと寺尾調節池の土手の上の修繕を要望



寺尾調節池  
土手の上の修繕実現

守屋県議とこの英子市議で現地視察



## 新型コロナ対策 自粛と一体で補償を

日本共産党埼玉県委員会の新型コロナウイルス対策本部は3月26日、大野知事、小松教育長（当時）に対し、緊急の申し入れを行いました。

大野知事は「無担保・無利子・無保証は難しいが、貸し付けをしっかり行うことで中小企業を応援する。中小企業や業者に対する指摘はわれわれも共有している」と話しました。



## 守屋ひろこの 県政ニュースレター

2月定例会  
特集号



発行  
2020年春号

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>



## 新型コロナウイルスに関する 緊急要望書を川合市長に提出

2月11日、日本共産党川越市委員会は、新型コロナウイルス感染症に関する要望書を市長に提出しました。要望書の内容は、学校の一斉休校による子どもたちへの影響や給食の問題、中小零細業者の影響調査と支援策など31項目です。

## 新型コロナウイルス

# 感染防止のために

新型コロナウイルスの感染による影響は計り知れません。みなさんと行政と議員がともに力を合わせて乗り切る時です。党県議団は、感染を防止するために、また、コロナ対策による経済の悪影響も最小限にとどめるために全力をあげます。

熱などの症状がある

●ご心配な点は

埼玉県新型コロナウイルス  
感染症県民サポートセンター

TEL 0570-783-770

コロナかも…

●LINEでの相談は

埼玉県 LINE 公式アカウント

埼玉県 - 新型コロナ対策パーソナルサポート



●日本共産党の議員に相談したい方は

日本共産党埼玉県議団

TEL048-824-3413



## 今福地域の 路面標示が実現

今福に住む方から、「近くにスーパーができて対向車とぶつかりそうになるので、路面標示をしてほしい」と寄せられ、守屋県議と長田市議で調査し、実現しました。



## 川越市議団が 市政懇談会開く

2月14日、守屋県議も参加し、各々の市議・県議から議会報告を行いました。参加した市民から質問や要望が出されました。



2月のコロナ対策を求める緊急申し入れ。対応したのは保健医療部副部長



予算特別委員会総括質疑で、コロナ対策を知事に質問



予算特別委員会コロナ対策部局別質疑で、知事に質問



障害者施設を感染から守るための緊急申し入れ。対応したのは福祉部長



新型コロナウイルス感染が拡大している。県内には75床の感染症病床があるが、とても足りない、拡大の計画は。



一般医療機関に打診中。  
(予算特別委 3/19)

3月31日

大野知事は感染症病床をさらに150床確保の見込みと公表



防災問題での県議団主催研修会に100人参加



台風19号の際、避難所が水没した箇所がある。県地域防災計画では豪雨災害の避難所と地震避難所が同じ基準になっている。見直しを。



避難所について検証作業を進め見直す。  
(本会議 3/2)



新型コロナウイルス感染拡大の中で、フリーランスや個人事業主が仕事を失っている。融資では救うことはできない。固定費などの直接支援を、国に強くもとめてほしい。



地域経済の現状を把握し、県が取り組むべき対策、国に要望する対策、これらを整理して国につたえるとともに、我々も覚悟をもって臨みたい。

(予算特別委 3/23)



中小・零細・個人事業主の要望をヒアリング



感染拡大により、医療機関・福祉施設をはじめタクシーのような接客業などが深刻なマスク・消毒液不足になっている。一刻も早く届けてほしい。



優先度の高いところに、可能な限り迅速に届くようにする。

(予算特別委 3/19)

みなさんの声も届けました

# 党県議団に 知事・教育長が約束



一刻も早く県立循環器呼吸器病センターの医師の処遇を引き上げ、医師確保をし、欠員補充を。



医師からは自宅待機時や夜間・休日の時間外に手当を出してほしいなどの提案も聞いている。様々な観点から処遇改善に対応する。

(予算特別委 3/23)



肢体不自由児の学校が遠い。川口の子どもは1時間半かけて越谷市まで通学している。川口市に肢体不自由児の学校を。



肢体不自由児の越谷特支を視察



児童生徒の負担、憂慮している。川口市内に学校ができればと思って、市と協議してきている。

(本会議 3/2)



障害者の入所施設待機者は1600人。計画的な整備を。



必要な入所施設の整備を引き続き進める。

(本会議 3/2)



「障害者のくらしの場を考える」県との懇談会

令和2年度  
当初予算で

# みなさんの 願い実現!!

児童相談所の

## 一時保護所新設

県児童相談所は7か所ですが、一時保護所は4か所でした。党県議団は増設を求めてきましたが、熊谷児相建て替えと同時に新設が決定しました。

特別支援学校分校

## 新たに3校

特別支援学校の教室が足りません。県議団は繰り返し増設を求め、上尾南高校・北本高校・宮代高校内に高等部分校が設置されます。大宮北特支は定員増をします。

## 被災者半壊特別給付金

(50万円)

創設

豪雨などで自宅が半壊(床上浸水なども)した場合支給されます。

## LGBTQ 実態調査 を行います



## 日本共産党埼玉県議団は 当初予算に賛成しました

令和2年度予算案は大野元裕知事が提出した最初の予算案です。大野知事の当選後の「県民の声をよく聞く」という表明にふさわしく、上記のように県民の要求に基づく新規の施策がみられる一方、県立4病院の地方独立行政法人化や県学力学習状況調査実施事業費など懸念もあります。党県議団は、これらの問題点を予算特別委員会質疑などで指摘しつつ、前進面を評価し、予算全体として賛成しました。

日本共産党県議が研修

## 台風・豪雨災害と 自治体の役割は



日本共産党県議団の代表は、2月5・6日、神戸市で議員を対象にして開かれた研修会に参加し、台風や豪雨災害における自治体の役割について研修しました。研修テーマは「豪雨災害と自治体の防災・減災対策」「寄り添う防災・寄り添う災害対策」など、参加者は「防災の実際は、地元市町村が主体であり、目線は地域であるべきだとのメッセージを強く感じた」と述べました。



## 埼玉婦人問題会議 ワークショップ

2月8日、with youさいたままで埼玉婦人問題会議が開かれ、各分科会やワークショップが行われました。柳下礼子・守屋ひろ子県議が参加し、女性県議に対して参加者から質問・意見が出されました。今回は、共産党2名・民主フォーラム2名・無所属県民会議2名・自民党1名が参加しました。

2月20日～3月27日まで2月定例県議会が新型コロナウイルス感染が拡大していく中で閉会しました。コロナウイルス対策で2回にわたる補正予算が出され、全会一致で可決しました。

日本共産党県議団は、県民の命・暮らし・教育・営業を守るために頑張っていきます。

## 新型コロナウイルス

# 感染防止のために

新型コロナウイルスの感染による影響は計り知れません。みなさんと行政と議員がともに力を合わせて乗り切る時です。党県議団は、感染を防止するために、また、コロナ対策による経済の悪影響も最小限にとどめるために全力をあげます。

熱などの症状がある

コロナかも…

●ご心配な点は

埼玉県新型コロナウイルス  
感染症県民サポートセンター

TEL 0570-783-770

●LINEでの相談は

埼玉県 LINE 公式アカウント

埼玉県 - 新型コロナウイルス対策パーソナルサポート



●日本共産党の議員に相談したい方は

日本共産党埼玉県議団

TEL048-824-3413



2月のコロナ対策を求める緊急申し入れ。対応したのは保健医療部副部長



予算特別委員会総括質疑で、コロナ対策を知事に質問



予算特別委員会コロナ対策部局別質疑で、知事に質問



障害者施設を感染から守るための緊急申し入れ。対応したのは福祉部長

国の予算は  
リーマンショックと比べても  
一ケタ少なすぎます。

新型コロナウイルス対策は  
自粛と一体で補償を

新型コロナウイルス景気対策について、  
予算特別委員会で知事に質問

## 柳下礼子の県政ニュースレター

発行  
2020年春号

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

予算特別委員会を振り返って

## 国にはっきりものをいうのが 知事の責任

柳下県議は、新型コロナによるフリーランス、個人事業主、零細企業への深刻な影響を紹介し、融資ではこれらの事業者を救済することは難しいとして、固定費などの直接支援を求めました。産業労働部長は「多額な財政が必要」として「国全体で解決が必要」と答弁。柳下県議は、知事に対し「国の補正はリーマンショックの際20兆円が投入されたことに比べても一ケタ少なすぎる」「県民には国に対して言いたいことが山のようにある」として県民の代弁者として国にしっかりものをいうべきだと決意を促しました。

大野知事は「真摯に耳を傾け、地域経済の現状を把握し、国に伝えるとともに我々も覚悟をもって臨みたい」と答弁しました。

## 必要ない 信号機の撤去??

県警は、全県の信号機を調査し、必要性を失った信号機の撤去を進めています。2019年度は7機が撤去されます。柳下県議は、信号は県民の設置要望が高い施設だとして、住民への説明と納得を得るよう求めました。県警交通部長は住民へのていねいな対応を約束しました。

## ブランド米「彩のきずな」 開発に19年十分な体制を

柳下県議は、ブランド農産物の開発には育成に時間がかかると指摘。一方で試験研究機関の人員数は、2003年度152人から2018年度で86人と56%も減っているとして、増員を求めました。農林部長は「直近5年間では定数を増員されている」として、品種改良・品種の育成に力を入れていくと答弁しました。

令和2年度  
当初予算で

# みなさんの 願い実現!!

児童相談所の

## 一時保護所新設

県児童相談所は7か所ですが、一時保護所は4か所でした。県議団は増設を求めてきましたが、熊谷児相建て替えと同時に新設が決定しました。

特別支援学校分校

## 新たに3校

特別支援学校の教室が足りません。県議団は繰り返し増設を求め、上尾南高校・北本高校・宮代高校内に高等部分校が設置されます。大宮北特支は定員増をします。

## 被災者半壊特別給付金

(50万円)

創設

豪雨などで自宅が半壊(床上浸水なども)した場合支給されます。

LGBTQ  
実態調査

を行います



## 日本共産党埼玉県議団は 当初予算に賛成しました

令和2年度予算案は大野元裕知事が提出した最初の予算案です。大野知事の当選後の「県民の声をよく聞く」という表明にふさわしく、上記のように県民の要求に基づく新規の施策がみられる一方、県立4病院の地方独立行政法人化や県学力学習状況調査実施事業費など懸念もあります。県議団は、これらの問題点を予算特別委員会質疑などで指摘しつつ、前進面を評価し、予算全体として賛成しました。



新型コロナウイルス感染が拡大している。県内には75床の感染症病床があるが、とても足りない、拡大の計画は。



一般医療機関に打診中。  
(予算特別委 3/19)

3月31日

大野知事は感染症病床をさらに150床確保の見込みと公表



防災問題での県議団主催研修会に100人参加



台風19号の際、避難所が水没した箇所がある。県地域防災計画では豪雨災害の避難所と地震避難所が同じ基準になっている。見直しを。



避難所について検証作業を進め見直す。  
(本会議 3/2)



新型コロナウイルス感染拡大の中で、フリーランスや個人事業主が仕事を失っている。融資では救うことはできない。固定費などの直接支援を、国に強くもとめてほしい。



地域経済の現状を把握し、県が取り組むべき対策、国に要望する対策、これらを整理して国につたえるとともに、我々も覚悟をもって臨みたい。  
(予算特別委 3/23)



中小・零細・個人事業主の要望をヒアリング



感染拡大により、医療機関・福祉施設をはじめタクシーのような接客業などが深刻なマスク・消毒液不足になっている。一刻も早く届けてほしい。



優先度の高いところに、可能な限り迅速に届くようにする。  
(予算特別委 3/19)

みなさんの声を届けました

# 党県議団に 知事・教育長が約束



肢体不自由児の学校が遠い。川口の子どもは1時間半かけて越谷市まで通学している。川口市に肢体不自由児の学校を。



児童生徒の負担、憂慮している。川口市内に学校ができればと思って、市と協議してきている。  
(本会議 3/2)



肢体不自由児の越谷特支を視察



障害者の入所施設待機者は1600人。計画的な整備を。



必要な入所施設の整備を引き続き進める。  
(本会議 3/2)



一刻も早く県立循環器呼吸器病センターの医師の処遇を引き上げ、医師確保をし、欠員補充を。



医師からは自宅待機時や夜間・休日の時間外に手当を出してほしいなどの提案も聞いている。様々な観点から処遇改善に対応する。  
(予算特別委 3/23)



「障害者のくらしの場を考える」県との懇談会



## あなたの声をきかせてほしい

小手指地域の梅の下で。どこでもコロナウイルスの問題でたくさんの声をいただいています。みなさんの声は国や県に要望として届けます。

旧町のあるお店では、「桜、桜ともう安倍さんも散ってほしいですね」「カジノに係わった人が逮捕されたんだからカジノは止めるんでしょうね。法案が通っているから止めないのですか?」「コロナの対応もどうなっているのか疑問ですね」など、店のお客さんも交じって盛りあがる。(自粛以前のとりくみです)



3月オール埼玉実行委員会総行動の駅頭宣伝が所沢駅東口で行われ共産党からは、私と荒川ひろし、小林すみ子両市議が参加し、私が日本共産党を代表してあいさつしました。平和、人権、自由、民主主義を踏みにじる、憲法破壊の安倍政治の現状についてそれぞれの視点から触れ、市民と野党の共同を一層強めて安倍政治を終わらせようと訴えました。

## LGBT成人式に出席 知事もかけつけて…



1月25日、午前9時から川越で行われたレインボーパレードに参加し、午後から第4回LGBT成人式に来賓として出席しました。第1回は埼玉県の後援が得られなくてみんなで県に働きかけ、第2回からは県後援となっています。

大野知事も出席し、あいさつされましたが、知事の「自分の意思でここに来ました。スケジュールは、秘書が決めているけれど…」知事の強い意志が伝わってきました。

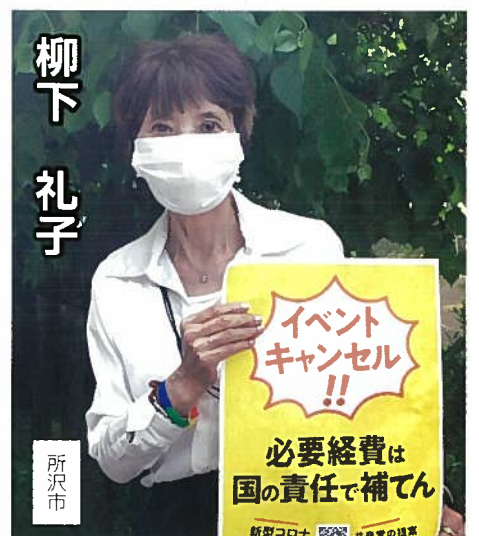


2月「女性県議と話しましょう」一男女共同参画推進センター(With Youさいたま)で開かれ、参加者からの質問に応えたり、議員として力を入れていることなどについて意見表明しました。



# 新型コロナ感染症対策に全力

## あなたの声をお寄せください



政府の特別定額給付金  
10万円はいつもらえるの?

学校はいつ始まるの?

業者への支援金  
1回だけの20万円じゃ足りない

臨時議会で実現

- 県内の中小企業・個人事業主へ最大30万円支援 (その後さらに10万円支給が決定)
- 発熱外来PCRセンター  
23か所開設を目指す (5月21日現在7か所)
- 入院病床確保へ (5月21日現在602か所)
- 軽症者受け入れホテル等確保 (5月21日現在1055室確保)
- 疑い患者の入院病床整備へ
- 新型コロナウイルス感染症 県民サポートセンターの 電話5回線増 (計13回線に)



PCR検査強化や事業者支援など副知事への要望に同席

## ● 支援制度紹介 ●

対象	支援制度	実施主体		内容と条件	申し込み・問い合わせ先
		国	県		
生活で困ったときは	特別定額給付金	○		4月27日時点で住民基本台帳に記載のある全ての人に一律10万円給付	特別定額給付金コールセンター ☎0120-260020 ※郵送される申請書に記入して返送
	緊急小口資金特例(貸付)	○	○	20万円以内を無利子で貸し付け。据置期間を2か月から1年に、返済期限を1年から2年に延長	市町の社会福祉協議会
	総合支援金(貸付)	○	○	月20万円(単身15万円)以内を原則3か月以内を無利子、保証人不要。据置期間6か月を1年に。返済期限は10年。	
住むところで困ったときは	住居確保給付金(家賃)	○	○	離職・廃業後2年以内の方(従来制度)に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により休業等で収入減少し、住居を失う恐れがある方にも家賃相当額(上限あり)を支給。学生も可能。	市町の社会福祉協議会 又は市町の自立相談支援機関
	県営住宅の提供		○	埼玉県内に住所があるか、離職前の勤務場所が埼玉県内にある方で、解雇や雇止め等により居住している住宅からの退去を余儀なくされた方やその見込みのある方。原則6か月。(事情により最長1年延長可能)	埼玉県都市整備部 住宅課県営住宅担当 ☎048-830-5564 平日9時から17時
事業で困ったときは	持続化給付金	○		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上げが前年比5割以上減少している中小企業、フリーランスを含む個人事業者などに、事業の継続を支える給付金を支給。法人200万円、個人100万円	持続化給付金事業コールセンター ☎0120-115-570 (電子申請が基本)
	中小企業・個人事業主支援金		○	4月8日から5月6日までの間に20日以上休業している。20万円または30万円	埼玉県中小企業等支援相談窓口 ☎0570-000-678(電子申請が基本) ※地域振興センターまたは県税事務所 所で書類をもらえる
	中小企業・個人事業主支援金(追加)		○	5月12日から5月31日までの間に8割以上休業している。2019年の売上げの月平均が15万円以上あること。1者につき10万円。	埼玉県中小企業等支援相談窓口 ☎0570-000-678
と困税 つ金 きたで	納税の猶予	○	○	新型コロナウイルス感染症の影響により2月からの一定期間で収入が前年同月比で2割以上減少した場合、納税が原則1年間猶予されます。	税務署、県税は 総務部税務課☎048-830-2651

### どこに相談したらよいかわからないときは

● 感染を疑うときは 県民サポートセンター…………… ☎0570-783-770

● 心の健康に関する相談  
精神保健福祉センター「埼玉県こころの電話」…………… ☎048-723-1447

[平日 9:00~17:00]

[土・日・祝日 9:00~17:00]

新型コロナウイルス感染症に係る埼玉県こころの電話…………… ☎048-723-6811

● 学校教育に関する相談  
総合教育センター「よい子の電話教育相談」(子供用) …… #7300または0120-86-3192  
(保護者用) …………… ☎048-556-0874

● 日本共産党県議会議員団…………… ☎048-824-3413